

## 中東で激化する暴力 — 停戦と説明責任を求める

2024/08/06

国連人権高等弁務官事務所

独立専門家たちは本日、イスラエルが占領するシリアのゴラン高原で、レバノンから発射されたと見られるロケットにより 12 人の子どもたちが死亡したことや、イスラエルが レバノンでヒズドラのフアド・シュクル司令官を殺害したとされることなど、中東で暴力がエスカレートしていることに遺憾の意を表わした。また、イランにおけるハマスの政治局長でパレスチナ暫定自治政府前首相のイスマイル・ハニヤ氏の暗殺を非難した。上述した 3 つの出来事は全て、殺害の事実を明らかにし、説明責任を果たすために、全ての証拠への適切なアクセスや関連する国々からの全面的な協力など、完全に独立した公平な調査が不可欠であることを物語っている。罪のない市民の命を守るために、全ての国に、全ての戦線で直ちに停戦するよう求めた。また安全保障理事会に対し、国際平和および安全を脅かす行動をとる地域の全てのアクターに効果的に対応するという安保理の責任を果たすよう求めた。